



## 町が救急車を平泉分署に配備

車両の老朽化に伴い11年ぶりの更新

町は、一関西消防署平泉分署に配備している救急車の老朽化に伴って車両を更新し、引き渡し式を3月15日、町学習交流施設「エピカ」駐車場で行いました。

平成24年に分署へ配備した車両の老朽化に伴い町が更新したもので、式には町や消防署、町消防団から10人余りが出席。青木町長から鍵と車検証を受け取った同消防署の伊藤賢署長は「車両の特性や装備の熟知に努め、町民の負託に応える」と決意を示しました。



平泉中学校



## 【写真特集】慣れ親しんだ校舎、園舎に別れ告げる

町内の小中学校、幼稚園、保育所で卒業・卒園式



町内の小中学校や幼稚園、保育所で3月、卒業式や卒園式が行われ、卒業生と卒園児が慣れ親しんだ園舎や校舎に別れを告げました。17の20区にわたり、式の様子を紹介します。



## 来館者60万人を達成

平成21年開館の平泉文化遺産センター

平泉文化遺産センターは3月18日、来館者60万人を達成し、節目の来館者となった横浜市の江口純子さんと青木町長がくす玉を割って節目を祝いました。

江口さんは「東京国立博物館で中尊寺金色堂の展示を見て、平泉を訪れた。60万人おめでとうございます」と笑顔で話しました。

同センターは、平泉の文化遺産の魅力を紹介する施設として平成21年4月に開館しました。

## イロハモミジを植樹

平泉スマートIC駐車場内

平泉スマートインターチェンジ（IC）駐車場で3月19日、イロハモミジの植樹が行われ、参加者が紅葉シーズンの色づきを待ち望みました。

県土木技術振興協会の公共施設環境整備支援事業により寄贈されたもので、高さ約5m、5本が一株になっています。10区の住民を中心とした参加者約20人が参加し、シンボルツリーに成長することを願いながら丁寧に土をかぶせました。



## 黄色い帽子とランドセルカバーを寄贈

町交通安全母の会連合会が新入学児童へ

町交通安全母の会連合会（小野寺祐子会長）は3月21日、黄色い帽子とランドセルカバー43人分を町教育委員会に贈りました。平泉、長島両小学校の入学式の日、新1年生全員に贈られます。

新入学児童の交通事故防止に役立ててもらいたいと、毎年継続している取り組み。同日は小野寺会長と内藤まき子副会長、高橋みよ子副会長が役場を訪れ、吉野教育長に帽子とカバーを手渡しました。

